

がん検診の精度管理に係る市町村への助言事項について（R元年度）

1 チェックリスト遵守について

チェックリストの項目を遵守することで、がん検診の質を高い水準に保つことができ、それによって地域住民のがん死亡率の減少へとつながることから、「自治体担当者のためのがん検診精度管理マニュアル」等を参照し、チェックリストの遵守に向けて取り組まれない。

（※連続して非遵守数が多い場合は、その旨明示し一層の取組について指導）

2 チェックリスト未提出

チェックリストの項目を遵守することで、がん検診の質を高い水準に保つことができ、それによって地域住民のがん死亡率の減少へとつながることから、調査未回答でしたが、今後のご回答をお願いするとともに、「自治体担当者のためのがん検診精度管理マニュアル」等を参照し、チェックリストを活用のうえ、がん検診の適切な事業評価・精度管理に努められたい。

（※連続して未回答の場合は、その旨明示し必ず回答いただくよう指導）

3 全国の遵守率を大きく下回っている項目について

次の2項目については、全国と比較し、全道の遵守率が大きく下回っている状況にあり、チェックリストの項目を遵守することで、がん検診の質を高い水準に保つことができ、それによって地域住民のがん死亡率の減少へとつながることから、その遵守に向けてより一層努められたい。

- (1) 【問1-2】対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか。
- (2) 【問3-2-1】問3-2の一覧に掲載したすべて精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか。
- (3) 【問6-1】委託先検診機関（医療機関）を仕様書の内容に基づいて選定しましたか。
- (4) 【問6-1-1】仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか。

4 精密検診受診率の向上について

「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（平成20年3月がん検診事業の評価に関する委員会）において、がん検診の事業評価に当たっての許容値及び目標値を示しているが、がん検診の精密検査受診率を算出したところ、許容値に達していない状況となっており、許容値・目標値達成に向け、精密検査の受診勧奨などに一層取り組まれない。